

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 61 回 リスク専門部会 議事録

1. 日 時：2022年8月9日（火）13：30～16：30

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）高田部会長，桐本副部会長，今井幹事，国政幹事，山中幹事，倉本，栗坂，佐藤，高田，高橋，武部，中島，丸山，森山，吉田（15名）

（欠席委員）青木，糸井，曾根田，竹内，三輪（5名）

（委員候補者）柿木 俊平（原子燃料工業），竹下 明（中部電力）（2名）

（常時参加者）浅野，川口，菅谷，小城（4名）

（欠席常時参加者）鈴木，西村（2名）

（説明者）【PRA 品質確保分科会】竹次幹事，倉本委員

【地震 PRA 作業会】根岸幹事，喜多委員，高橋委員，原口委員，藤岡委員

【レベル 2PRA 分科会】濱崎幹事

【JIWG】川口コーディネータ

（延べ 9 名）

（事務局）大沼，牧野，平野，正岡（4名）

4. 配付資料

- RKTC61-00 第 61 回リスク専門部会議事次第
- RKTC61-01 第 60 回リスク専門部会議事録（案）
- RKTC61-02 人事について
- RKTC61-03-1 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版原案に関する意見募集【SC22-02】の結果について “
- RKTC61-03-2 “Implementation Standard Concerning Integrated Risk-Informed Decision Making for the Continuous Safety Improvements in Nuclear Power Plants: 2019” <英訳版標準原案：標準委員会報告後転載明示版>
- RKTC61-04-1 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” で受け付けた意見への対応について（標準委員会コメント対応表）
- RKTC61-04-2 地震PRA標準202X改訂（案）【本文】
- RKTC61-04-3 地震PRA標準202X改訂（案）附属書リスト
- RKTC61-05 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 2 PRA 編）：2022”（津波への拡張）の誤記チェックの結果について
- RKTC61-06-1 “原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準：202X” 標準委員会意見募集コメント対応表
- RKTC61-06-2 “原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準：202X”（案）2022/8/9 版
- RKTC61-07-1 Topics of Japan IWG
- RKTC61-07-2 JIWG メンバー名簿（案）
- RKTC61-08 AESJ-SC-RK010:2022 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル 1PRA 編）：2022” の発行前の修正に係るメール審議【RKTC22-01】の結果について

- RKTC61-09 分科会の活動状況について
 RKTC61-10 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
 (レベル2 PRA 編) : 2021” (地震への拡張) の ASRAM 2022 への投稿について

講習資料

- RKTC61-講習資料 SC88-5_日本原子力学会標準委員会倫理教育に関する資料 (2022 年度)

参考資料

- RKTC61-参考 1 リスク専門部会委員名簿
 RKTC61-参考 2 リスク専門部会出席実績
 RKTC61-参考 3-1 標準委員会運営規約
 RKTC61-参考 3-2 標準委員会の活動にかかる基本方針 (細則)
 RKTC61-参考 3-3 委員選任等細則
 RKTC61-参考 3-4 標準活動基本戦略タスク運営細則
 RKTC61-参考 3-5 転載許諾のガイドライン
 RKTC61-参考 3-6 公衆審査ガイドライン
 RKTC61-参考 3-7 標準採番ガイドライン
 RKTC61-参考 3-8 委員選任等の運用ガイドライン

5. 議事内容

事務局から開始時、委員総数20名中、15名が出席しており、成立に必要な定足数(14名以上)を満たしていることが報告された。

(1) 前回議事録 (案) について (RKTC61-01)

前回議事録 (案) について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について (RKTC61-02)

事務局から RKTC61-02 に基づき、専門部会の人事について以下の提案があり、委員の退任等が確認され、審議の結果、委員の選任等が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

柿木 俊平	原子燃料工業
竹下 明	中部電力

(2) 委員再任

桐本 順広	電力中央研究所	2022. 12~2024. 11
倉本 孝弘	原子力エンジニアリング	2022. 12~2024. 11
栗坂 健一	日本原子力研究開発機構	2022. 12~2024. 11
曾根田 秀夫	日立 GE ニュークリア・エナジー	2022. 12~2024. 11
吉田 一雄	日本原子力研究開発機構	2022. 12~2024. 11

2. 確認事項

(1) 委員退任

津村 真吾	中部電力	2022. 06. 30
益子 裕之	原子燃料工業	2022. 06. 30

(2) 常時参加者登録解除
堀田 亮年 原子力規制庁 2022. 08. 09

【分科会】

○レベル 1PRA 分科会

1. 確認事項

(1) 委員退任

齋藤 寿輝 東京電力ホールディングス 2022. 06. 30

(2) 常時参加者登録解除

島崎 宏 トイックス 2022. 05. 16

(3) 常時参加者登録承認

久保 史 トイックス

○レベル 2PRA 分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

成川 隆文 東京大学
守田 幸路 九州大学
山路 哲史 早稲田大学

2. 確認事項

(1) 委員退任

楠木 貴世志 原子力安全システム研究所 2022. 06. 30

(2) 常時参加者登録解除

長江 尚史 関西電力 2022. 06. 30

○外的事象 PRA 分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

喜多 利亘 東京電力ホールディングス

2. 確認事項

(1) 委員退任

齋藤 寿輝 東京電力ホールディングス 2022. 06. 30

○PRA 品質確保分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

喜多 利亘 東京電力ホールディングス
向井 肇 中部電力

2. 確認事項

(1) 委員退

齋藤 寿輝 東京電力ホールディングス 2022. 06. 30

小林 立 中部電力 2022. 07. 05

(3) 【報告・審議】 (RKTC61-03-1～RKTC61-03-3)

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版原案に関する標準委員会意見募集の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，リスク専門部会 PRA 品質確保分科会 倉本委員 (システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 幹事))

事務局から RKTC61-03-1 に基づき，題記に関する標準委員会意見募集の結果，ご意見がなかったことが報告された。引き続き，PRA 品質確保分科会 倉本委員から RKTC61-03-2 に基づき，転載箇所についての説明があった。審議の結果，鑑文書を加えて，次回の標準委員会に報告することが決議された。(報告事項)

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：転載許諾自体は，すべて不要であったということによいか。

A：出典元文献から図表を転載している2件とも，転載許諾は不要であった。ただし，これら図表転載については，“標準作成ガイドライン：2020”に則して，掲載図表の直近に出典元を明瞭に記載する必要があるものと判断して，標準案に追記を行った。

C：標準委員会への報告時には，転載許諾確認の結果，及び標準案の修正につき，口頭だけでなく，資料にして説明するのがよい。

A：拝承。標準委員会には，資料を作成して報告を行うようにする。

(4) 【報告・審議】 (RKTC61-05)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準 (レベル2 PRA 編)：20XX” (津波への拡張) の誤記チェックの結果について

(担当：レベル2PRA分科会 濱崎幹事，廣内幹事，山越幹事，吉田幹事)

レベル2PRA分科会 濱崎幹事から RKTC61-05 に基づき，題記に関する誤記チェックの結果について説明があり，審議の結果，次回の標準委員会に報告することが決議された。(審議事項)

特に質疑，コメント等は無かった。

(5) 【報告・審議】 (RKTC61-07-1～RKTC61-07-2)

JIWGの活動状況・JIWGメンバー

(担当：リスク専門部会 JIWG 川口コーディネータ)

JIWG 川口コーディネータから，資料 RKTC61-07-1 に基づき，来月開催される JCNRM への報告資料のドラフトについて説明があった後，資料 RKTC61-07-2 に基づき，メンバー追加について説明があり，審議の結果，メンバー追加について承認することが決議された。

なお，JCNRM への報告資料については，盆休み明け頃に最終案を委員各位へ送付し，メールにて確認いただき，この中でコメントいただくこととした。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：追加の2名はいずれも NRRC だが，なぜ2名なのか。

A：2名のマルチユニット PRA での研究分担があり，全体のシステム評価と機器の同時損傷確率の評価手法開発などであるため，それぞれの専門性を生かして貢献できると考えて2名とも参加している。

(6) 【報告】 (RKTC61-04-1～RKTC61-04-3)

“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” 標準改定原案に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応について

(担当：地震PRA作業会 根岸幹事，喜多委員，高橋委員，原口委員，藤岡委員)

地震 PRA 作業会 根岸幹事，喜多委員，高橋委員，原口委員，藤岡委員から RKTC61-04-1～RKTC61-04-3 に基づき，検討状況について説明があった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：コメント対応表の No. 3 の回答と対応方針に関して、最初の一文の表現が適切かを検討すること。

A：コメントに沿った回答に修正致します。

C：標準の中で随伴と重畳の用語を使い分けている場合、地震標準を使用するユーザが間違えないよう、その定義を明確にしておくこと。

A：今後、地震標準内で用語を整理し、定義を明確にすることを計画しております。

Q：標準改定のスケジュールとしては、次回リスク専門会で審議、次々回の標準委員会で報告という認識で相違はないか。

A：相違ございません。

(7) 【報告】 (RKTC61-08)

AESJ-SC-RK010:2022 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル1PRA 編）：2022” の発行前の修正に係るメール審議【RKTC22-01】の結果について
(担当：事務局)

事務局から、メール審議【RKTC22-01】の結果について報告があった。当該の標準は誤記訂正を反映のうえ発行済である。本件については標準委員会審議細則に従い、次回の標準委員会において報告する。（報告事項）

(8) 【報告】 (RKTC61-9)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

RKTC61-9に基づき、分科会の活動状況について確認した。

(9) 【報告】 (RKTC61-10)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：2021”（地震への拡張）の ASRAM 2022 への投稿について

(担当：レベル2PRA分科会 濱崎幹事，廣内幹事，山越幹事，吉田幹事)

レベル2PRA分科会 濱崎幹事から、資料 RKTC61-10に基づき、ASRAM2022への投稿の準備状況について説明があった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：本件は9月の標準委員会へも報告するか。

A：報告する予定である。

(10) 【報告】 (RKTC61-06-1～RKTC61-06-2)

“原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準：202X”改定原案に関する標準委員会意見募集の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：PRA品質確保分科会 竹次幹事)

PRA品質確保分科会 竹次幹事から、資料 RKTC61-06-1～RKTC61-06-2に基づき、検討状況について説明があった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：コメント対応の内容が固まっていないというより、ASME/ANS PRA 標準の改定内容の確認を行い、全体の内容を見直す必要があるということか。

A：ご認識の通りです。

Q：既存の標準を廃止して問題ないか。他の標準の成立性の観点からの検討が必要。他の分科会へ確認する必要があるが、リスク情報活用検討タスクに諮ってはどうか。

A：他の標準の成立性について検討する。

C：標準委員会への報告をまだしないのは分かるが、状況を連絡しておく方がよい。先ず、戦略タスクにて状況を説明してはどうか。

6. 倫理教育

今井幹事から、RKTC61-講習資料に基づき、標準委員会での倫理教育の内容について説明があった後、意見交換を行った。

7. その他

(1) 標準委員会規程類・ガイドラインの制改定について

事務局から RKTC61-参考 3-1～参考 3-8 に基づき、当該の規程類について、第 88 回標準委員会（6/1 開催）において制改定が承認された旨、説明があった。

(2) 今後の予定

今回は、2022 年 11 月 7 日（月）13：30 からの開催に決定した。

以上